

人口動向を予測し 教育環境の整備を図れ



政新クラブ 田中 順子 議員

視野に入れ、整合性を十分に認識して策定した。

議員 卒業式において、多くの児童・生徒が壇上に上るとき、国旗へ敬意を払う態度を示すべきだと考え、学校を指導している。

教育長 学習指導要領に基づいて適切に実施するよう学校を指導している。

議員 本市の児童・生徒数は総体的には増加傾向にあるが、地域によって増減差が生じている。児童・生徒数が増加した市内の公立学校では、応急処置的に、他の目的に利用していた教室を普通教室に転用しているようだ。各校の状況を聞く。

教育部長 下連雀、上連雀、牟礼、北野、井口、野崎を含む学校では普通教室への転用で対応している。

議員 学校間の児童・生徒数のバランスを整え、教育環境の適正化を図ることが必要だ。コミュニティ・スクールを核とした小・中一貫教育校の展開を進める中で、学区の変更も検討すべき時期ではないか。

教育部長 都の調査でも、児童・生徒数が微増する動きがあるようだ。各学校の許容量と児童・生徒数の増減の内容を細かく見ていく必要があると考えている。

議員 計画的な施策の立案・推進には人口予測は欠かせない。市が設定する計画人口は17万5千人だが、現在は外国人登録者を含め既に17万8千人を超えている。「子育てしやすいまち」との評判から児童数が増えている本市の特性を十分考慮し、より高精度な将来の人口予測を行うことが重要だ。三鷹ネットワーク大学に加盟する大学等と連携・協力し、将来人口の予測を行うよう努めてほしい。

第一副市長 指摘のように大学等の協力も得ながら、より高精度の調査を独自に開発していきたい。

市民を守るための サポート施策の充実を



公明党 寺井 均 議員

議員 国は平成19年4月に「多重債務問題改善プログラム」を決定し、自治体での相談体制の整備を求めている。この問題に市として真面目から取り組むべきである。市長の所見を伺う。

市長 市民がより気軽に消費者相談や法律相談ができるよう鋭意取り組みたい。

議員 自転車による事故が増加する中、自転車利用者に対する交通安全意識の啓発の必要性を感じる。自転

車事故防止・モラル向上のための施策について聞く。

都市整備部長 三鷹警察署との連携を強め、自転車の乗り方についてのルールとマナーの徹底を図りたい。

議員 地球温暖化対策として公用車のハイブリッド化を推進する考えはあるか。

生活環境部長 環境保全の観点から買い替えの際に低公害車の導入を進めたい。

議員 廃食油からバイオディーゼル燃料を製造し、その有効利用に取り組む豊前市の「障がい者就業支援センター」を公派で視察した。本市でもバイオディーゼルに関する調査を進めよ。

生活環境部長 バイオディーゼルなど環境への負荷を減らす取り組みについては今後も研究していきたい。

議員 要介護者が増加する中、福祉施設の介護職員不足が深刻な状況だ。介護の担い手対策について聞く。

市長 大学や専門学校と連携しながら、人材の育成などを前向きに検討したい。

議員 日本における結核の罹患率は、先進国の中でも圧倒的に高い。本市の現状と予防対策について伺う。

市長 本市の患者数は100人を超える状況にある。保健所と連携しながら結核に対する意識啓発に努めたい。

レファレンスサービスの 充実した図書館を目指せ



公明党 赤松 大一 議員

議員 図書館は文化・情報の発信・収集のみならず、人と人との交流の場等の機能を備えた施設として、より多角的なサービスの提供が求められている。貸出予約機能の強化などソフト面は充実してきたが、施設整備などのハード面では、まだ改善すべき点が多い。通路の拡幅、休憩や飲食スペースの確保等、誰もが利用しやすい環境整備が必要だ。

生涯学習担当部長 細かな対応とバリアフリー化等で快適な環境整備に努め、優しい図書館を目指したい。

議員 子どもが本に触れる機会を増やすことも図書館の使命だ。①子どもへのレファレンスサービスを充実せよ②市内の全図書館で「布絵本」の閲覧や貸し出しができないか③入院する子どものために絵本の「読み聞かせ」を行うボランティア団体等が病院で活動できる取り組みを市内の病院と連携し実施してほしい。

生涯学習担当部長 ①気軽に相談しやすいカウンターづくりなど検討したい②提供を図っていききたいと考える③検討したい。

議員 外国人が図書館を利用しやすいよう通訳者の常駐など設定できないか。

生涯学習担当部長 そうした方向性を含め検討したい。

議員 駅周辺に返却ポストを設置すれば利用者拡大につながる。市政窓口などに設置できないか。

生涯学習担当部長 物理的・事業について

輝くまち三鷹を目指し 市民の生命を守る施策を



公明党 粕谷 稔 議員

条件も勘案し検討したい。

生涯学習担当部長 親子で図書館を楽しむよう保育コーナーを設置できないか。見解を伺う。

議員 駅周辺に返却ポストを設置すれば利用者拡大につながる。市政窓口などに設置できないか。

生涯学習担当部長 物理的・事業について

議員 自殺をどう防ぐか。日常生活における心の健康の問題は深刻な課題となっている。WHO（世界保健機関）でも自殺はその多くが防ぐことのできる社会的な問題だとしている。自治体でも積極的に取り組むことが急務である。市の自殺防止対策の取り組みを聞く。

市長 様々な相談場面をとらえて、市民の不安やストレスを軽減できるような取り組みを実施している。

議員 自殺の問題を社会の問題としてとらえ、抑止していくためにも、プライバシーに留意しながら広報などで市民に周知していくべきだ。「自殺防止！ 東京キャンペーン」との連携について所見を問う。

市長 都との一体的な取り組みなどについて検討していきたい。

議員 様々な要因が複合的に暮らせる施策について

市民の期待に応える 歩道整備・医療・教育を



民主党 中村 洋 議員

議員 自治基本条例が施行されて約2年で市政はどの

議員 医療機関や専門家との連携により、多くの自殺が予防可能になるとの指摘もある。人が財産、人が宝である。誰もが安全に安心して住める、輝く三鷹のまちを何としても築いていきたい。所見を問う。

市長 多面的な相談機会を整備するなど、人の命を大切に取る取り組みを強めていきたい。

議員 様々な要因が複合的に暮らせる施策について

会議等の割合が4割を超えた。新たな自治の仕組みの充実・普及に努めたい。

議員 コミュニティ・センター等、より身近な場所で行政サービスが受けられるよう検討できないか。

市長 住民協議会の自治の尊重を基本として、より良い事業展開に努めたい。

議員 都市計画道路について、①策定当時のままの現状に合わない計画をどう見直すか②連雀通りや人見街道等の歩道拡幅は重要な課題である③幹線道路の拡幅が難しい箇所では生活道路を設置し安全を守ることが必要だと考える。

都市整備部長 ①都と市が協働して取り組んでいる②引き続き都に強く要望していく③道路管理者や交通管理者と検討を進めていく。

議員 在宅医療や在宅介護を進めるには、訪問医療の充実が重要となる。医師不足の問題や救急医療体制の整備等の課題に、どう取り組んでいくつもりか。

市長 全国市長会で医師の確保を強く要望している。今後、地域医療におけるかかりつけ医師の確保と、いざというときの救急体制の整備等について考えていきたい。

議員 介護サービスにおいて人材確保が困難だが、質は維持すべきだ。

健康福祉部長 事業者連絡協議会を通じ、質の高い事業者を育成するなど支援を進めていきたい。

議員 地域で住み続けるための住宅政策が必要だ。グループリビング事業への支援を検討せよ。

健康福祉部長 事業を進める上での相談など側面的な支援を進めていきたい。

議員 障がい者施策についてサービス量の確保に努めてほしい。バリアフリー社会に向けた法制度の整備や施策の充実などに努めよ。

市長 国の法制度の整備動向を注視しながら、地域社会の一員として自立して生活できるまちとなるよう取り組みを進めていきたい。

議員 地球温暖化対策は全市民的な視点で取り組むべきだ。ごみの焼却量や電力使用量の削減及び車社会からの転換が必要だ。どう取り組みを広げていくのか。

生活環境部長 みたか環境活動推進会議と協働しながら市民活動の場をできるだけ広げていきたい。

議員 国の学習指導要領改訂案では、ゆとり教育が見直される。所見を示せ。

教育長 新しい学習指導要領の内容は、自ら考える力などを育成する上で意味あるものと考えている。

議員 教育の根幹は人である。十分な人員の配置や教師と子どもが向き合う時間を確保することが大切だ。市では、独自のコミュニティ・スクールを基盤とした小・中一貫教育校の推進に取り組んでいる。小・中一貫教育校の成果を問う。

教育部長 児童・生徒、教師の交流により人間関係形成能力などが培われた。

一般質問の模様は市議会ホームページ（1面題字下参照）の本会議録画で継いでご覧いただけます。